

様々な 視点

から世界をとらえる



2022 コーポレート・サステナビリティ・レポート

目次

前書	3
CEO からのご挨拶	3
私たちの基盤となるサステナビリティ	4
健康と福祉へのインパクト	5
医学研究への継続可能な資金調達	5
さらなる医学研究へ投資するための治療	7
生物医学研究の新たな世代へのトレーニング	7
資産運用会社としてのサステナビリティ	10
サステナブル投資	11
サステナブル投資の原則	11
気候リスクと機会へのアプローチ	19
サイエンス・スポットライト：人々の健康へのインパクト	21
雇用主としてのサステナビリティ	22
ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン	23
弊社のアプローチ：学び、学び解き、学び直す	23
サイエンス・スポットライト：癌	27

表紙の画像

研究者は、タンパク質複合体の 3D 構造を使用して、タンパク質が相互作用によってどのように正常な機能を果たすのかを明らかにします。弊社の年次コーポレート・サステナビリティ・レポートでは、資産運用会社、雇用主、企業市民としてサステナビリティ価値をどのように生み出し、持続させているのかをご紹介します。



ジョナサン・トーマス
プレジデント & CEO、アメリカン・センチュリー・インベストメンツ

サステナビリティは、単に私たちが実践しているものという以上に、企業としての私たちの在り方、そして世界市民としての役割をどう果たしているかを反映するものです。

ACIは、投資収益と社会のポジティブな変化を生み出すことを目標とし、達成するために尽力しています。世界にポジティブなインパクトをもたらすと共に、お客様が資産形成で成功できるようサポートしてきた歴史に誇りを持っています。

弊社は、上記テーマを **Prosper With Purpose** (豊かな未来のために)[®] と掲げており、すべての行動の源となっています。

ACIの歴史は、1958年に優れた長期的なリスク調整後リターンをお客様に提供することへの情熱から始まりました。現在は、創設者であるジェームズ・E・ストワーズ・ジュニアとその妻バー吉ニアのビジョン、寛大さ、信念により、弊社とお取引いただく全てのお客様に、投資を通じて、人生を変えることの出来る医学研究への支援、また、世界の健康と福祉への促進に貢献いただいております。

自らが癌を患った経験を元に、ジムとバー吉ニアは、ストワーズ医学研究所を設立しました。同研究所は、癌、糖尿病、認知症など生死にかかわる疾患の原因、治療、治癒の解明に専念しています。独自の株主構造を通じ、アメリカン・センチュリーは、革新的な医学研究を継続的にサポートするため、利益の40%以上を医学研究所の配当に充てています。その結果、2000年以降、ストワーズ医学研究所に対する配当金は20億ドル近くとなっています。

サステナビリティは弊社のDNAに根付いています。お客様の資産形成の成功をお手伝いするにあたり、この独自のビジネスモデルを通じて、**国連の持続可能な開発目標3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」**の進展にインパクトをもたらします。サステナビリティの原則を組み込んだ投資ソリューションを提供する弊社のビジネスは、インパクトを生み出す自然な流れとなっているのです。

弊社は、ストワーズ医学研究所との関係を通じて私たちへの健康のみならず、雇用主として、職場ポリシー、福利厚生、文化を通じて、弊社で働く従業員の健康と幸福にインパクトを与えています。充実した医療保険と健康プログラムを提供しており、有意義な方法でコミュニティに貢献できるよう、従業員と連携しています。

様々な視点をもつ多様性のあるチームが、お客様をより深く理解することができ、優れたソリューションを提供し、長期的な関係を築けると考えています。あらゆる人の意見が認められ、耳を傾けられ、評価されるよう、そして各メンバーの才能を最大化できるオープンな企業文化の成長を保てるよう尽力しています。

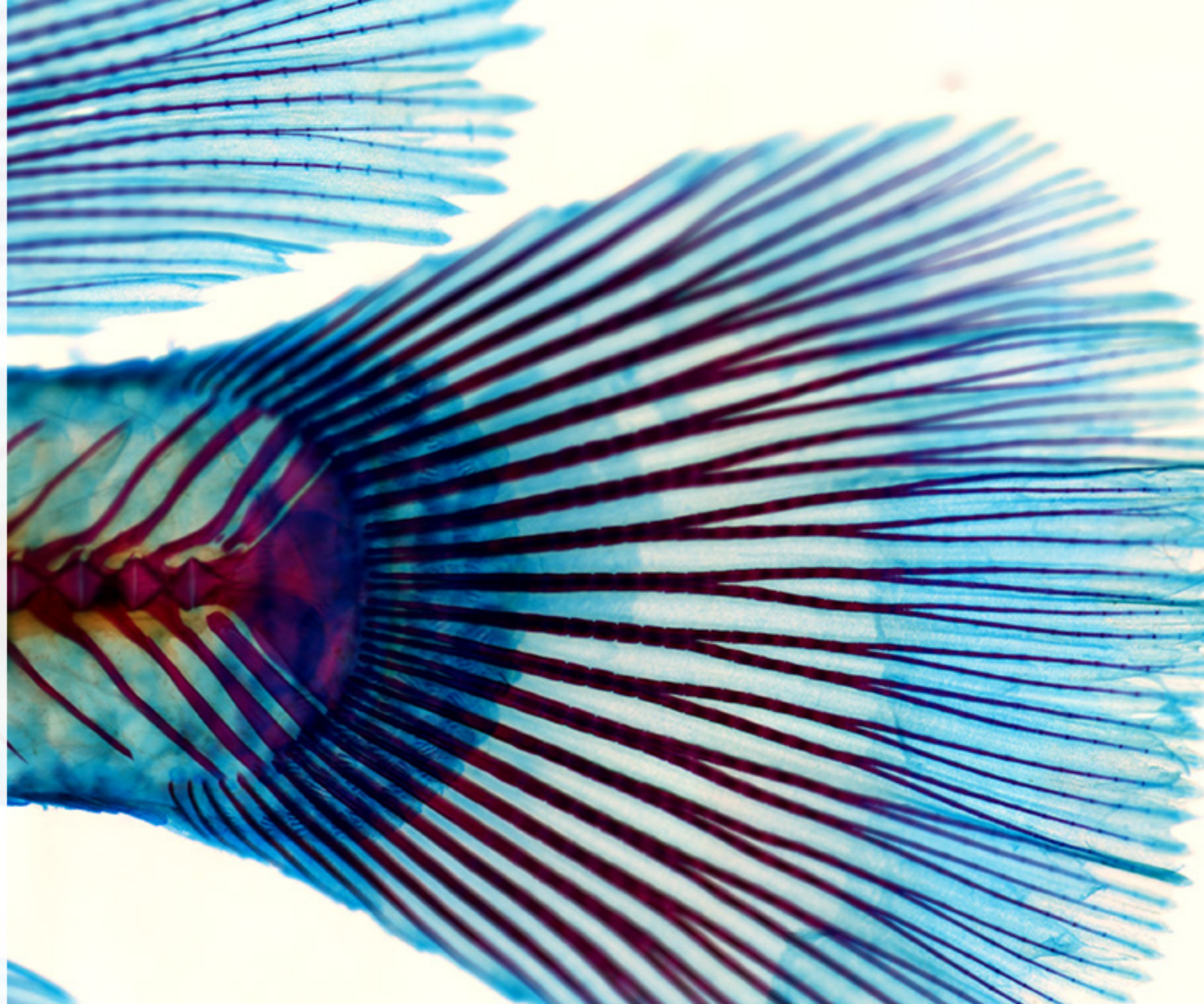
2022年のサステナビリティ・レポートでは、私たちが成し遂げてきたこと、そして目的志向の企業文化を支える継続的な取り組みについて、詳しくご紹介しています。

私たちの の基盤

となる
サステナビリティ

画像

アフリカのキリフィッシュ、学名：*Nothobranchius furzeri*、の尾は、その骨格成分を可視化するため染色してみると、軟骨は青く染まり、骨は赤く染まります。ストワーズ医学研究所との資本構造は、サステナビリティ活動を支え、形作るものです。





タチャーナ・ピオトロウスキー博士は、アメリカン・センチュリーのプレジデント兼 CEO であるジョナサン・トーマスに、孵化していないゼブラフィッシュの胚を紹介しました。ピオトロウスキー研究室では、生体内での複雑な発生と再生のプロセスを高解像度で詳細に分析することを目指しています。

健康と福祉へのインパクト

弊社にとってサステナビリティとは、世界にポジティブな影響をもたらす貢献しながら、投資を通じて良好な収益をお客様へご提供することを意味します。このことは、公正で透明性の高い事業活動、公平な雇用と職場方針、お客様のための社会的な責任ある投資、サステナブルな環境への取り組み、確固たる企業倫理といった範囲に及びます。サステナビリティは、弊社が資産運用者および企業市民として行う取り組みからもたらされるものではなく、弊社の存在そのものと言えます。

サステナビリティは弊社のDNAに根付いています。ACIの支配株主は、世界的な生物医学の研究機関であり、弊社の配当金の40%以上が、人類の健康と生命の脅威となる病気の解明の活動に充てられています。弊社は2000年以降、ストワーズ医学研究所に対して約20億ドルを拠出してきました。

これは予算上の裁量科目ではありません。これは、弊社の企業構造であり、私たちのビジネス上の活動全てを形作っています。

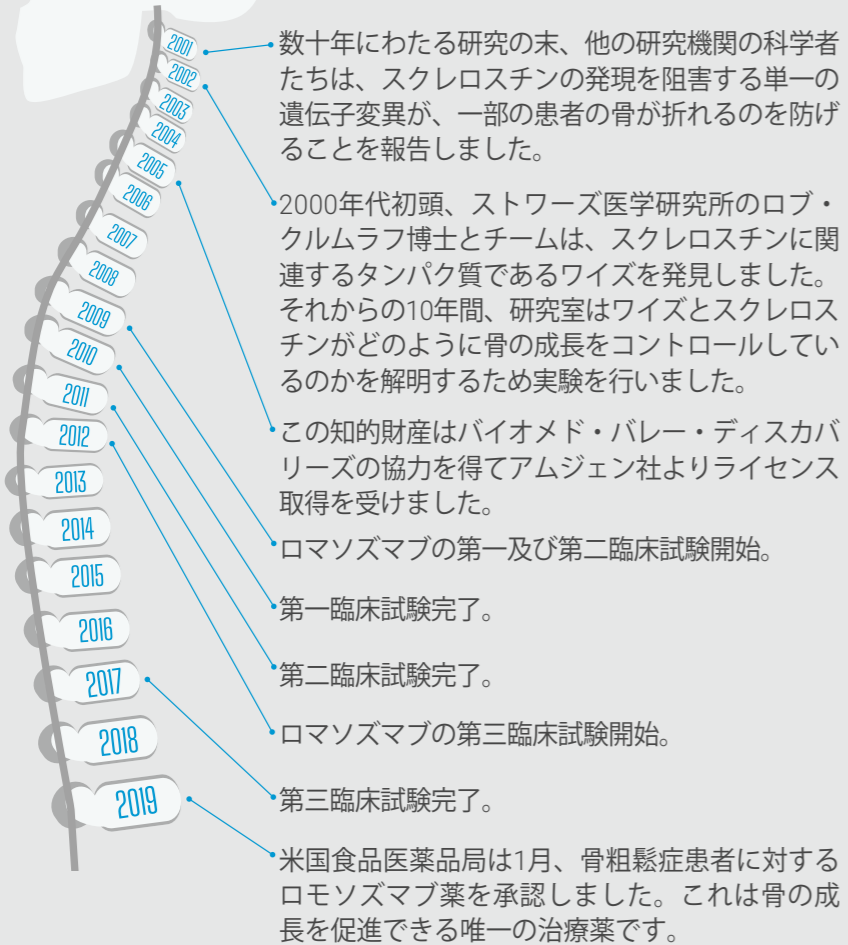
なぜなら、業界で唯一無二であるこの株主構造が、アメリカン・センチュリーの従業員とお客様が、ストワーズ医学研究所の使命の支援の一助となっていることを意味するからです。その使命とは、病気の

原因、治療、予防に対する革新的なアプローチを通じて、生命の神秘の理解を広げ、生命の質を高めることで、医療研究を通じて人類に大きな貢献をすることです。弊社は、国連の持続可能な開発目標3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」に合致するストワーズ医学研究所の研究の資金に出資しています。この資産運用会社としての私たちの強みを活かし、グローバルヘルスにインパクトを与えながら、お客様の資産形成での成功をお手伝いします。

医学研究への継続可能な資金調達

福祉にインパクトを与える資産運用会社という弊社のユニークな立場は、弊社創設者の独創力と寛大さから成り立ちました。ジム・ストワーズとバージニア・ストワーズは、病気の治療及び治療の複雑さを認識し、研究に対する長期的かつ安全で独立した資金調達を確保するための革新的なアプローチを必要としていました。ストワーズ医学研究所がアメリカン・センチュリーの株式持分を保有することで、基礎研究に対する継続的な資金調達が可能となります。

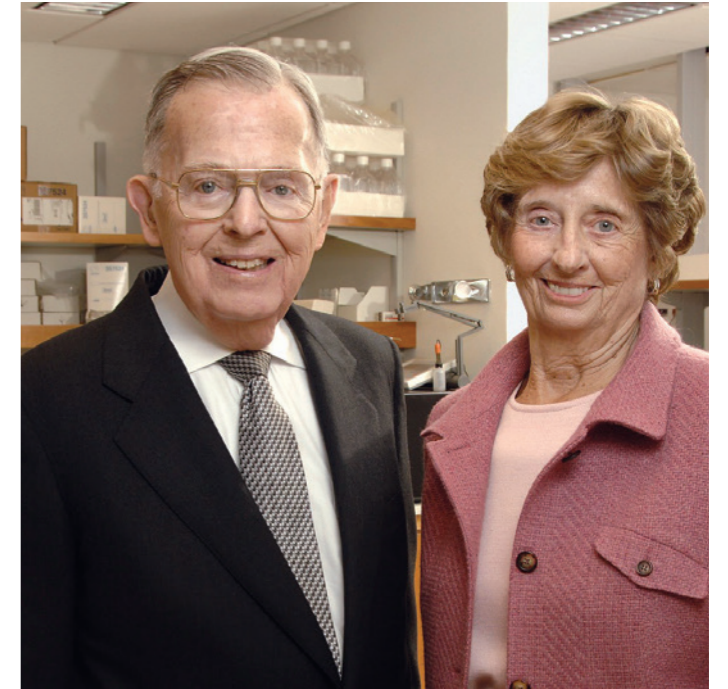
基礎研究から大発見、治療法承認までの道のり



2010年、ジム・ストワーズと妻バージニア・ストワーズはその誓約において「私たちの資産の99%以上を、生涯または死後、慈善活動へと寄付する」と約束しました。また、「バージニアと私は、アメリカン・センチュリーでの成功を可能にしてくれた皆様に対して、お金よりもさらに価値のあるものでお返しをしたいと考えています。私たちのビジョンは、病気の原因、治療、予防に対する革新的なアプローチを通じて、生命の神秘の理解を広げ、生命の質を高めることで医学研究を通じて人類に大きな貢献をすることです。」と述べています。

ストワーズ医学研究所がアメリカン・センチュリーを所有することからもたらされる財務上の強みとサステナビリティは、生命科学分野において、革新的かつ創造的な研究への追求に関心のある世界中の科学者を魅了してきました。この資金調達モデルによって、ストワーズ医学研究所の科学者たちは、助成金獲得のための論文執筆ではなく、研究そのものに専念することができ、1997年より約1,900本を超える科学論文を発表しており、現在進行中の150の研究プロジェクトに従事しています。また、個人的な寄付や政府の補助金を通じた支援が難しいことが多い基礎研究にも重点的に取り組んでいます。

ストワーズ医学研究所による **The Case for Curiosity: Why Basic Research Matters (好奇心について：なぜ基礎研究が重要か)** では、基礎研究への資金投入は、病気を治療するための新しく、より



ジムとバージニア・ストワーズ (2006年)

良い方法への道筋であるという考えに議論の余地はない、としています。実際、そうした理由からストワーズ夫妻はこの研究所を設立しました。これを示す例として、研究員のタチアナ・ピオトロウスキー博士が2010年にジム・ストワーズと交わした会話をご紹介します。ピオトロウスキー博士がストワーズ氏に何に関する研究を望むかと尋ねた際、ストワーズ氏は彼女にこう言いました。「あなたが科学者なのだから、何が重要かあなたが知っているはずです。」



ストワーズ医学研究所の研究者は、基礎研究への資金投入の重要性を主張することを必要としません。ストワーズ夫妻はその誓約の中で「最高の科学者がチームとして協力し、献身的なリーダー、先端技術と継続可能な資金サポートがあれば、偉大な発見が生まれると信じています。」と述べています。

ストワーズ医学研究所は、2022年に89の科学論文を発表しました。その内容は、アルツハイマー病などの神経変性病理、糖尿病などの代謝疾患、炎症性疾患、先天性疾患、嗅覚、難聴とその回復、組織再生に至るまで、あらゆる分野に精通しています。

さらなる医学研究へ投資するための治療

ストワーズ夫妻により設立された、営利目的の臨床段階バイオテクノロジー企業であるバイオメド・バレー・ディスカバリーズ (BioMed Valley Discoveries) は、研究での新たな発見を人々の手に届く治療法に変え、健康を改善する際、癌、炎症、感染症など、さまざまな治療法および診断分野にわたって、治療を必要とする患者のニーズに応えることができます。

同社は、研究において治療法に繋がる可能性のある発見に対しての特許、ライセンス取得を支援することを目的としているため、研究者は研究に専念することが出来ます。また、同社の利益は100%ストワーズ医学研究所に還元され、さらなる医学研究への資金となります。

バイオメド・バレー・ディスカバリーズでは、腫瘍分野で3つのプログラムが進行中であり、そのうちの2つは臨床試験段階にあります。同社は、特定の遺伝子変異をターゲットとした第1級癌治療のフェーズ2に該当するものを含め、複数の臨床試験を実施中です。

生物医学研究の新たな世代へのトレーニング

ストワーズ医学研究所の大学院は、世界中からプレドク（博士号取得前）研究員に、生命科学分野において、革新的で創造的な研究を行う機会を提供しています。このプログラムは、高度なクリティカルシンキングを重視した実践的な研究室での経験に、最新手法を採用した綿密なトレーニングを組み合わせることにより、プレドク研究員の能力向上に焦点を当てています。

「この大学院では、プレドク研究員に対し、基礎的な科学の真理に関してさまざまな視点を投げかけ、活発なディスカッションに参加する学問の自由を提供しています。ストワーズ医学研究所での科学は、予想不可能な未知の調査であることが多く、プレドク研究員はその過程を経験することができるのです。」と、ストワーズ医学研究所のエグゼクティブディレクター兼主任研究員であり、大学院の教員であるアレハンドロ・サンチェス・アルヴァラド博士は述べています。

この大学院は 2012 年に最初のプレドク研究員を受け入れ、2016 年にはプレドク研究員が初めて博士課程を修了しました。この大学院には、現在 40 名のプレドク研究員が在籍しており、23 名の博士課程修了者がおり、さらに他のプログラムからのプレドク研究員のトレーニングも実施しています。



数字でみるストワーズ医学研究所

3 米国科学アカデミーの
メンバー数

1 ハワード・ヒューズ
医学研究所の研究員数

4 アメリカ芸術科学
アカデミーの会員数

4 アメリカ科学振興協会の
会員数

70 科学的サポートを
提供する研究員数

60 ポスドク研究員と
会員数

60 プレドク研究員数

17 主任研究員数

500 スタッフ数

\$1.9B 研究費

600,000 平方フィート
研究所の敷地面積

10 エーカー
敷地面積

16 テクノロジー
センターの数

2 提携大学院の
プログラム数

3 ストワーズ医学研究所の
大学院のトレーニング
プログラム数

150 進行中の研究
プロジェクト

1,900超 科学論文数



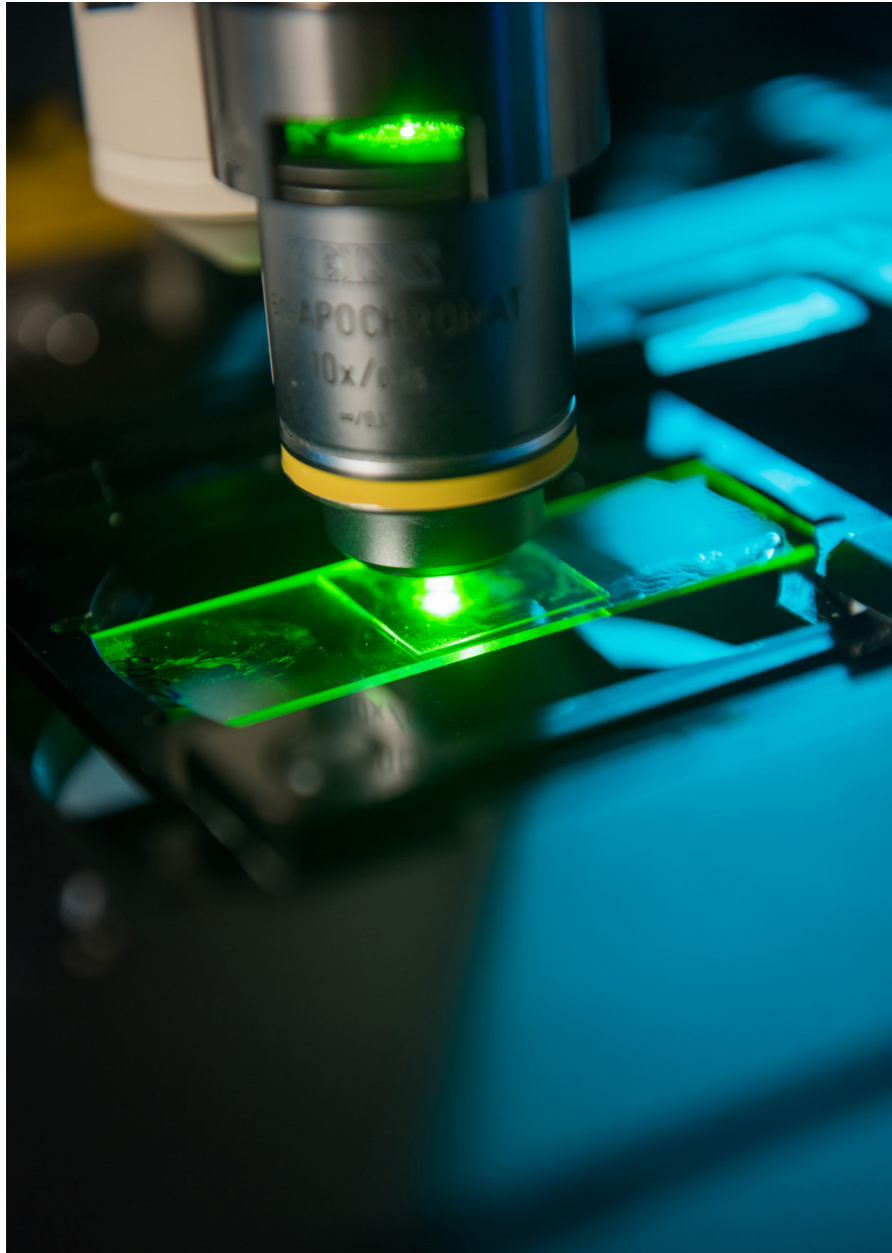
STOWERS INSTITUTE FOR MEDICAL RESEARCH

資産運用会社

としての
サステナビリティ

画像

脂肪オルガノイドの一部は、培養皿の中で臓器が発達する複雑な過程を捉えることが出来るため、研究者はより多くのことを探求することが出来ます。弊社のサステナブル投資アプローチは、更なるリスクと機会を把握する上で役立ち、お客様により良い投資成果を提供します。



サステナブル投資

弊社におけるサステナビリティの歴史は、アメリカン・センチュリーとストワーズ医学研究所との関係から始まっており、その関係性を通じてグローバルヘルスにインパクトを与えながら、お客様の資産形成の成功をお手伝いします。こうした目的をもったビジネスモデルは、弊社のカルチャーを作り出し、投資手法にサステナビリティ原則を取り入れることは、弊社ビジネスの自然の流れとなっています。サステナビリティ要素を投資プロセスに組み込むことで、お客様に優れた長期のリスク調整後リターンを提供できると考えています。

長年にわたり、環境・社会・ガバナンス（ESG）の要素を考慮し、投資プロセスに組み込んできました。2006年に「除外」アプローチを採用して、社会的責任投資を開始しました。2014年には、リスクと機会の管理を向上させることを目標に掲げ、複数のグローバルおよび米国以外の旗艦戦略に重要なESG要素を正式に組み込みました。

それ以来、サステナビリティへの取り組みを大幅に拡大しています。この取り組みの例は以下の通りです。

- ・ 専任のサステナブル・リサーチ・チームの設立、及び組織の拡大

- ・ サステナビリティに焦点を充てた独自のリサーチモデルとツールの構築
- ・ ESG インテグレーションを投資戦略の多くに拡大
- ・ スチュワードシップへのアプローチの強化
お客様に ESG を重視したソリューションを提供

サステナブル投資の原則

企業や発行体のサステナビリティは、さまざまなステークホルダーをどのように取り扱うかによって、ますます左右されるようになりました。気候変動が世界経済や企業にもたらす潜在的影響は広く認識されているものの、他のサステナビリティに関連する問題を効果的にマネージしている発行体の能力も、サステナビリティの存続に重大な影響をもたらす可能性があります。これは、企業のバランスシート上において無形資産の価値が大幅に上昇していることに顕著に現れています。例えば、人的資本、データおよびテクノロジー、ブランドイメージなどの無形資産は、S&P 500 指数の時価総額の 90% を超える水準まで増大しています。これらの資産は、サステナビリティと密接に結びついており、投資プロセスへの ESG 要素を投資手法に組み入れることがこれまで以上に重要になっています。

アメリカン・センチュリーのサステナブル投資ポリシーは以下の3原則に基づいています。



1. 投資主導のアプローチ

弊社が常に最重要視するのはパフォーマンスです。運用チームは、サステナビリティに関連する重要なリスクと機会を投資プロセスに組み込むことで、より多くの情報に基づいた投資判断を行うことができ、良好な成果につながることから、サステナブル投資へのアプローチを推進します。



2. 独立した洞察

独自のリサーチとツールによって、結論を導き出します。アクティブ・マネージャーとして、サステナブル・リサーチ・チームと運用チームは、より賢明な洞察とより良い結果を生み出すためのツールを開発しています。



3. イノベーション

サステナブル投資に対するアプローチの継続的開発の歩先を進み続けるために、お客様と連携して、投資目標を達成するための可能性と戦略を開発しています。

1. 投資主導のアプローチ

サステナブル投資に対する弊社のアプローチは投資主導です。なぜなら、サステナビリティ関連の要素を基礎的な投資プロセスに組み込むことで、発行体のビジネスモデルの長期的な持続可能性やキャッシュフローの耐久性を、より総体的に評価することができると考えているからです。また、ESG課題は、ファンダメンタル分析プロセスへの重要なインプットとなり得ると考えており、ダウンサイドリスクの緩和や、投資先の長期的な投資価値のアップサイドの可能性を測る手助けとなります。そのため、運用チームの多くがESGへの考慮を投資プロセスに組み入れています。

弊社のアプローチは投資主導ではありませんが、サステナブル投資は、アメリカン・センチュリーの戦略上の焦点であり、法務、コンプライアンス、マーケティング、販売、商品企画、ITなどの業務に従事する200名を超える従業員がサポートする、会社全体での取り組みです。

監督

アメリカン・センチュリーの戦略的優先事項を決定するマネジメント委員会は、弊社のサステナブル投資戦略とコミットメントを監督しています。サステナブル投資活動に対する直接的な監督及び

責任は最高投資責任者(CIO)が担っており、各投資分野のCIOと連携して、投資プロセスにおける重要なESG課題への取り組みを監督しています。リーダーシップチームは、各投資分野のCIO及び運用組織全体のシニアリーダーで構成されており、サステナブル投資のイニシアチブを含む投資実務の統括としての役割を担っています。

サステナブル投資部門の責任者はCIOの直轄に位置し、弊社のサステナブル投資戦略の推進と実行、及び専任のサステナブル・リサーチ・チームを監督する責務にあります。

専任のサステナブル・リサーチ・チーム

サステナブル・リサーチ・チームは、運用組織の管轄であり、専門知識を提供することで運用チームをサポートしています。各投資分野に専任のサステナブル・リサーチ・アナリストを配置し、各チームと密に連携しながら、サステナビリティ関連の問題をファンダメンタル分析及びポートフォリオ意思決定に反映するよう努めます。サステナブル・リサーチ・チームは下記を担当します：

- 発行体別およびテーマ別のリサーチの拡大
- サステナビリティの評価モデルおよびツールの開発
- スチュワードシップの実践

- ・ サステナビリティの概念とアプローチに関する社内トレーニングの実施
- ・ サステナブル投資のさまざまな側面についてお客様の理解を深めるための弊社の見解を発表

サステナブル投資カウンスル

サステナブル投資に対する投資主導のアプローチを明確に示すため、サステナブル投資カウンスルは、定期的に会合を開き、サステナブル投資戦略を促進、ベストプラクティスの推進し、弊社の統合アプローチの一貫性をサポートしています。同カウンスルは、サステナブル投資責任者と、あらゆる投資分野の経験豊富なポートフォリオマネージャーで構成されます。活動及び進捗の加速化を図るため、インテグレーション、議決権行使、エンゲージメント、気候分析、インパクト投資、コミュニケーションといった主要分野で取り組みを実行するサブ委員会を設置しました。

2. 独立した洞察

サステナブル投資に対する統合アプローチは、世界において一般的となっています。このアプローチは、特定の企業やセクター全体を選別する手法とは著しく異なっています。アメリカン・センチュリーは、サステナブル投資のリーダーとして広く認知されている北欧諸国とオランダの機関投資家を対象にした調査のスポンサーを務め、この調査では、ESG統合が現在、好まれるアプローチであることを示しています。

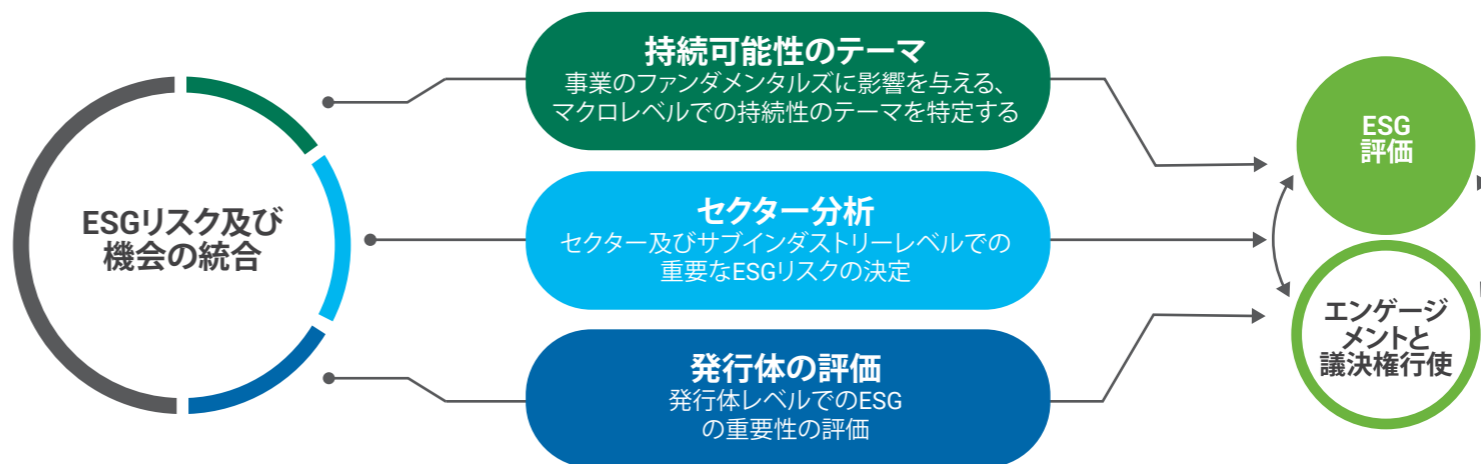
サステナブル・リサーチ・チームの指導の下、独自のマテリアリティ（重要性）マッピングのフレームワークを適用し、ESG要素を投資プロセスに組み入れる際に使用できる発行体レベルのESG評価を策定しています。弊社のマッピングのフレームワークは、主要なサステナビリティのテーマ、セクター、発行体という3つを対象とした分析において、重要なESGリスクと機会を特定する手助けとなります。評価には、発行体のサブインダストリーの関与も考慮した、最も重要なESGリスクに基づく独自のESGスコアカードが含まれています。このスコアは、発行体の現在のESG管理実務、および発行体が長期的に改善するか、悪化するかについての定性的な見方ができるように設計されています。この評価は、ESGスコアとその発行体のトレンドシグナルから構成される最終的なESG格付けとなります。また、ESG評価は、エンゲージメント目的及び優先事項を決定する際の助けとなり、

エンゲージメントの結果はESG評価及び議決権行使に影響を与える可能性があります。

運用チームは、発行体のESG評価を投資テーマに組み入れ、パフォーマンスへの影響を管理する責務を担っています。

データ主導

発行体の個別ESG評価を作成する際、公表済みの開示資料（10-K、10-Q、20-F、GRI準拠のレポートまたはそれに相当するサステナビリティ・レポート、委任状など）を主な情報源とします。また、政府や非政府組織が発行する専門のデータに加え、国連教育科学文化機関（ユネスコ）、世界銀行、国連開発計画、米国連邦緊急事態管理庁など、さまざまな機関の公開情報も活用します。社内のESG評価ツールは、MSCI、Sustainalytics、Institutional Shareholder Servicesなどの第三者プロバイ





ダーが提供するデータを活用することもあります。これらのデータや格付けのみに依拠していません。弊社では、独自のプロセスとリサーチに基づいて結論を導きます。

また、気候データ及びそのサポートをするための必要なテクノロジーも拡充しています。気候データに関連する強化された機能には、気温上昇予想や気候シナリオテストなどが含まれます。

トレーニング

トレーニングは、サステナブル投資の見識を深めるためにチームが協力し合う上で大切な手段です。サステナブル・リサーチ・チームは、サステナビリティのトレンド、手法の開発、ベストプラクティスを常に把握できるよう、定期的にトレーニングの機会を設けています。最近行われた研修のテーマは、現代奴隷制、欧州連合のサステナブルファイナンス開示規則、物理的な気候変動リスク、生物多様性などです。また、特定のポートフォリオチームレベルのトレーニングを行うことで、チームのサステナビリティ知識の適用が向上し、投資プロセスへのESG要素の統合を促進します。

これとは別に、サステナブル・リサーチ・チームは、新たな規制や主なサステナビリティ投資のイニシアチブを継続的にモニターしています。同チームは、

法務やコンプライアンスと協働して、弊社の事業に影響を与える可能性のある変更について、社内で最新情報を提供しています。

スチュワードシップ

エンゲージメントおよび議決権行使を、お客様へのリターン向上をサポートするためのツールと捉えています。従って、弊社のスチュワードシップ活動は、企業価値に影響を与えると考えられるサステナビリティに関する重要事項や、持続可能な経済にとって重要と考える主要テーマに重点を置いています。

エンゲージメント 弊社のエンゲージメント活動は、サステナブル・リサーチ・チームによって管理されていますが、運用チームが単独で行うこともあります。また運用チームと協働で実施されることもあります。エンゲージメントのテーマは以下です：

- 生物多様性
- クリーンテクノロジー
- 気候変動
- サイバーセキュリティ
- ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン（多様性、公平性、包括性）
- 健康と安全
- 現代の奴隷制
- 株主の権利

投資先企業と対話する目的はさまざまですが、多くの場合、以下のような機会が含まれます：

- ・ サステナビリティ関連の機会とリスク（議論的となる活動を含む）に対するアプローチへの理解を深める
- ・ 重要なサステナビリティに関する重要事項の透明性を推進する
- ・ サステナビリティに関するベストプラクティスと業界標準を協議する
- ・ 企業実務にプラスの変化を促すことを目的として予測を立てる
- ・ 株主提案について弊社の見解を示す

投資先企業との対話はさまざまな結果をもたらす可能性があり、「成功」は、抱える問題、その重要性、弊社の目的及び期間によって異なります。成果として挙げられるのは、事実調査、改革の促進、議決権行使に関する決定、ポートフォリオのウェイトやバリュエーションの調整、または（稀に）売却などです。

弊社のエンゲージメント活動は、共通のリサーチプラットフォームに一元化されており、運用チーム全体で連携した取り組みと透明性の向上を促進します。エンゲージメント活動の範囲は主に実態調査や開示であり、必要に応じて改革を促進できるような取り組みも行います。

議決権行使 議決権行使によってサステナビリティ課題へのコミットメントを示し、サステナブルな実務のさらなる推進につながります。ESG 関連決議への議決権行使は、長期的な株主価値に影響を及ぼすと考えられる財務上重要な課題に重点を置いています。インスティテューショナル・シェアホルダー・サービシーズの社会的責任投資（ISS SRI）による推奨を含むさまざまなインプットを活用して、サステナブル・リサーチ・チームは、ポートフォリオマネージャーに対し、具体的な議決権行使を推奨しています。一般的に同チームは、株主提案、その経済的影響、および長期的に株主価値を最大化する要因において合理的な関連があると判断できる、的を絞った ESG 関連提案への支持を推奨しています。

サステナビリティに関連する議決権行使課題の例は以下の通りです：

- ・ 取締役会の多様性
- ・ 取締役会の独立性
- ・ 取締役のオーバーボーディング（複数の上場企業の役員に就くこと）
- ・ 環境に関する開示
- ・ 賃金の男女格差
- ・ 労働慣行とサプライチェーンの管理
- ・ 株主の権利

ポートフォリオマネージャーは、議決権に関する最終的な決定権を持っています。

3. イノベーション

弊社のサステナブル投資に対するアプローチと、独自のサステナブル投資ツールこそが、真の差別化要因です。これらには以下が含まれます：

- ・ 環境（E：Environment）、社会（S：Social）、ガバナンス（G：Governance）の課題を個別に捉えず、サステナビリティについて包括的に捉えるテーマ別アプローチ
- ・ 学術研究に基づき、セクター別及び産業別に重要な ESG リスクと機会を特定するように設計されたマテリアリティ（重要性）マップ
- ・ ESG 要因に関するダイナミック・トレンド・シグナルを含む、同業他社との比較データが取り込まれた、強化された ESG スコアカード
- ・ 人口、貯蓄率、生産高（資本、技術、労働）、資本ストック、設備投資を反映した国レベルの経済成長に関する独自のソブリン・モデル
- ・ ソブリン・モデルで使用するアプローチを米州および地方自治体に適用した地方債モデル

- ・ クレジット・アナリストに ESG について市場ベースの観点を提供し、スプレッドの公正価値モデルに ESG コストを直接反映できる債券向けの C.R.E.D.I.T ツール
- ・ 開発中の S360™ プラットフォームは、社内の ESG ツールおよびデータを統合し、発行体及び保有ポートフォリオのサステナビリティのリスクと機会に関する広範な見方の提供
- ・ サステナビリティ研究推進のための学術機関との協働
- ・ サステナビリティ目標の達成に焦点を当てたエンゲージメント及び投資ソリューションを含む、お客様とのリレーションシップ

テーマ

企業が直面するサステナビリティ関連の課題と機会の多くは、経済の持続可能性及び経済成長を牽引する他の要因から切り離して評価することはできないと考えます。2022 年には、企業が繁栄できる持続可能な経済を確立する上で、重要であるとするサステナビリティの主要テーマ、及び関連するサブテーマに焦点を充て、分析を強化しました。テーマのうち4項目は、持続可能な経済の繁栄を達成するために不可欠とされる、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に直接合致しています。(4項目:ヘルスケア、エンパワーメント、サステナブルな生活、気候) 5項目目の「技術の進歩」は、SDGs と明確には整合していませんが、より包括的で生産的かつ持続可能な経済を実現するためのカギとなると考えています。

それぞれのテーマにおいて、今後3～5年間にかけてグローバル経済を牽引すると考えられる環境、社会、規制、およびイノベーション(極めて重要)に関する課題について、リスクと機会を示すサブテーマとトレンドを特定しました。私たちはこのような視点から、発行体及びそのサプライチェーンにおけるこれらの課題を分析し、そのサステナ



ヘルスケア

画期的な治療法

より生産的な医療機器とサービス

医薬品と医療サービスへのアクセス

医療費削減のための新たなソリューション



エンパワーメント

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

賃金構造

人権/労働者の権利

社会的地位の上昇



サステナブルな生活

リサイクル

生産

食品システム

製品寿命の延長



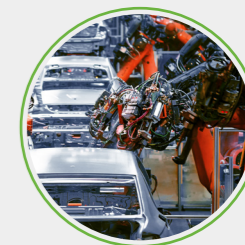
気候

代替エネルギー

生物の多様性

水

気候緩和
気候テック



テクノロジーの進化

デジタル化

フィンテック

E-コマース

コネクティビティ

自動化

ビリティを総合的に評価します。また、これらのテーマは、弊社のサステナブル投資のリサーチとエンゲージメントの原動力にもなっています。

S360™ プラットフォーム 独自のプラットフォームである S360™ (サステナビリティ 360™) は、現在開発中であり、社内のサステナビリティ関連のツールとデータを統合し、個々の発行体やポートフォリオに関連するリスクと機会について総合的に把握できるシステムです。このプロジェクトは順調に進んでおり、この革新的で包括的な評価アプリケーションを通じて能力が拡充されることを見込んでいます。当アプリケーションに搭載される機能は以下となります：

- ・ セクター及びサブインダストリー別に、重要な ESG のリスクと機会を特定する、強化されたりリサーチに基づくマテリアリティ (重要性) マップ
- ・ 同業他社との比較データが取り込まれ、関連する ESG 要素に関するダイナミック・トレンド・シグナルが含まれる弊社の ESG スコアカード
- ・ 気温上昇予想と気候シナリオのテストを含む、強化された気候分析機能
- ・ 収益と資本支出に基づいて、発行体が主要なサステナブル投資テーマに合致しているかを構造的に評価
- ・ 弊社のクレジット・アナリストが ESG 関連のリスクについて市場ベースで把握し、スプレッドの公正価値に反映させることを可能にする、独自の債券 C.R.E.D.I.T. ツールとの統合

- ・ 投資先企業との進捗状況や成果を含むエンゲージメント活動
- ・ 人口、貯蓄率、生産 (資本、技術、労働)、資本ストック、設備投資など、国レベルの経済成長に関する弊社の独自モデルから得られるアウトプットを示すソブリン・ダッシュボード
- ・ ソブリン・モデルのアプローチを米州及び地方自治体に適用した地方債ダッシュボード

サステナブル投資ソリューション

投資家の目的は多岐にわたるため、弊社は一律のアプローチをとりません。弊社のサステナブル投資ソリューションには、ESG を統合したもの、および ESG に焦点を当てたものがあり、イノベーションがその原動力となっています。また、お客様とのパートナーシップにより、特定のサステナブルな特性及び成果に焦点を充てた、カスタマイズしたソリューションをご提供しています。

一般的に、ESG インテグレーションとは、ESG 関連の要素を投資分析と投資判断に組み込むと定義されています。弊社は、ESG インテグレーションを、サステナブル投資の枠組みの一つのアプローチとしています。サステナビリティは、発行体の長期的見通しと価値に影響を与えるため、弊社は多くの戦略において、ESG に基づく分析を投資プロセスに組み込んでいます。アクティブ・オーナーとして、アメリカン・センチュリーの「インテグレーション (統合)」は、業界の標準的定義ならびに弊社のスチュワードシップ (エンゲージメントと議決権行使) へのコミットメントを反映しています。

重要なのは、インテグレーションに対する弊社のアプローチは、排他的ではなく包括的であるという点です。投資を継続し、弊社のスチュワードシップを活用することで、より良い投資成果と現実のサステナビリティに関する成果を向上させることができると考えています。弊社はインテグレーションを重視しており、弊社の見解はポジションのサイズ、デュレーション及び保有期間に最も多く反映されません。排他的なアプローチでなく統合的アプローチをすることで、(1) 議論の的となり得る業種やセクターに関する重大なサステナビリティ関連の重要課題についての発行体との対話 (2) 株主への価値に長期的に影響すると考えられる重要な ESG 関連の問題に焦点を当てた議案への投票、といった機会がもたらされます。

弊社はインテグレーションを重視する一方で、お客様のさまざまな目的を認識しており、リスク、リターン、サステナビリティについて、お客様の意向に沿った除外アプローチも提供しています。

ESG インテグレーション戦略については、優れたリスク調整後リターン (アルファ) の拠出に注力します。弊社の戦略の多くは、発行体の財務力、イノベーションを生み出す能力、市場での地位、経営の質などを分析する際に、ESG 要素を取り入れ統合しています。つまり、ESG に関連するリスクや機会が潜在的に与える影響を他事項も含め分析し、十分な情報に基づいた投資判断を行います。ただし、ESG リスクの存在により、ポジションの保有を辞めるというケースはありません。また、弊社の ESG インテグレーション戦略は「ESG ファンド」とみなされません。

ESG 重視の戦略は、少なくとも1つのサステナビリティ関連の成果を優先したい投資家向けに設計されているため、ESG 要素が投資プロセスにおいて、より大きなウェイトを占める傾向があります。ESG 投資戦略では、投資収益に加え、サステナビリティに関連した成果も重視しています。弊社は、この成果志向の戦略を「alpha plus(アルファ・プラス)」と呼んでいます。

弊社の ESG 重視の戦略は、**A-B-C** という覚えやすい3つのカテゴリーに分類されます。

- **A – 回避**：特定の ESG の基準、価値観または規範にそぐわない事業活動を行う発行体を除外
- **B – ベネフィット**：ESG パフォーマンスが高い、またはパフォーマンスの向上によって、ステークホルダーや社会に恩恵をもたらす発行体を支援
- **C – 貢献**：特定のテーマや目標に沿った発行体に投資することにより、環境及び社会に対し、大きなプラスの貢献をする

アメリカン・センチュリーのサステナブル投資ポリシーは、こうしたサステナビリティに基づく考慮を投資プロセスに組み込む投資戦略に適用されます。今後も引き続きサステナブル投資能力を拡充し、業界のベストプラクティスの進化を反映させられるよう、弊社のポリシーを強化していきます。



気候リスクと機会へのアプローチ

弊社は、脱炭素化に取り組む一方で、気候変動がもたらす大きな脅威に直面する世界において、発行体がどのような位置づけにあるか把握しようと努めています。また、低炭素なグローバル経済への移行は、クライメイト・ジャスティス・アライアンス (Climate Justice Alliance) の「公正な移行 (ジャスト・トランジション)」の取り組みと一貫性を持つべきであり、この取り組みは、弊社の気候変動関連のエンゲージメントにおいて、重点を置いている分野です。

弊社のアプローチは以下を取り入れています：

- 発行体が気候リスクにどのように対処し、ソリューションの革新をしているかを理解する。
- 気候関連の課題に革新的なソリューションを提供する発行体に投資する。
- アクティブ・オーナーとしての権利を行使して、企業のポリシーや行動に影響を与える。

弊社独自のマテリアリティ（重要性）マップと ESG スコアカードを活用し、個々の発行体が抱える気候リスクを評価、気候変動に関連する重要なリスク及び機会、およびそれらが投資テーマに与える影響を対処します。弊社が採用する定量的および定性的環境指標は以下の通りです：

- 環境効率レシオ、環境に配慮した製品への投資、規制遵守のためのコスト
- 環境コンプライアンスのリスクとフットプリント、資産保管理、サプライチェーンの問題を管理するためのプロセス
- 不正行為による不祥事 / 是正措置、環境および資産保全（物理的）リスクに対しての取締役会レベルの監督、企業の環境目標に連動する役員報酬のインセンティブなど、環境問題に関連するガバナンスの側面

ポートフォリオおよび発行体レベルで気候関連のリスクを評価するため、以下を開発しました：

- 顧客のポートフォリオにおける炭素集約型の保有銘柄とセクターエクスポージャーをベンチマーク対比で測定する、カーボンフットプリントツール
- エネルギーおよび電力セクターに影響を与える環境および気候変動規制の進展に伴うコスト上昇の可能性がある中、炭素集約型ポートフォリオの保有資産の債務返済に対する相対的な安全マージンについて、ストレステストを行う座礁資産シナリオ分析ツール



アメリカン・センチュリーの 気候アクションプラン

弊社は、気候変動とその他のサステナビリティ関連の課題は、グローバル経済にとって重要なシステムリスクであり、長期的にグローバル経済の動向に影響を与えると考えています。また、世界がこれらのリスクへの対処を模索する中で、大きな投資機会が生まれることも期待しています。

これを念頭に、アメリカン・センチュリーは、独自の気候アクションプランを策定しています。企業の監督とガバナンス、ベースライン評価など、環境フットプリント削減に向けた弊社のアプローチをアクションプランに詳しく記載する予定です。

提携団体

弊社は、スチュワードシップへの取り組みをさらに強化していくため、サステナブル投資を促進する一部の提携団体や業界団体に参加しています。弊社の投資主導のアプローチと合致し、サステナブルのテーマを促進する、より小規模でよりの絞ったイニシアチブに対し優先的に関与しています。これらの提携団体は以下の通りです。

ヘルスケア

ShareAction

Member of Healthy Markets Initiative

access to
medicine
FOUNDATION

エンパワーメント

IAST
APAC



サステナブルな生活



気候

CDP
INVESTOR
SIGNATORY



TCFD | TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES

T N
F D | Taskforce on Nature-related
Financial Disclosures

一般 / ガバナンス

Signatory of:
PRI | Principles for
Responsible
Investment

isg
INVESTOR
STEWARDSHIP
GROUP

riaa | Responsible
Investment
Association
Australasia

ICGN MEMBER
Inspiring global governance standards
www.icgn.org

2022 年の協働パートナーシップのハイライト

- 弊社は、人的資本管理を企業業績における重要な要素として向上させるため、多様なアセットオーナーグループが協力し合う組織であるヒューマンキャピタルマネジメント連合（HCMC）に参加しています。HCMC は、人的資本管理が長期的な株主価値の創出にどのように貢献するかを理解し、改善すること目的として、企業や他の市場参加者と対話する機会を設けています。弊社のサステナブル投資責任者であるサラ・ブラットン・ヒューズも、HCMC カウンシルのメンバーとして活躍しています。
- 弊社は、他の投資家と共に、製薬会社が医薬品アクセス問題や抗菌薬耐性に関連するリスクと機会をどのように管理しているかについての理解を深めるため「医薬品アクセス改善に向けた投資家宣言」に署名しています。また、医薬品アクセス財団（Access to Medicine Foundation）の研究を投資分析とエンゲージメント活動に活用しています。
- 食品・飲料業界を対象に、より健康的でサステナブルな食生活をグローバルに提唱することを通して、消費者の健康を向上させることを目的としたシェアアクション（ShareAction）が主導する、ヘルシー・マーケット・イニシアチブ（Healthy Markets Initiative）に参加しています。当初は食料品小売市場の企業に焦点を当てていましたが、この取り組みは、食料・飲料メーカーとの関わりを重視しています。

サイエンス・スポットライト

人々の健康へのインパクト

ストワーズ医学研究所の科学は研究室から始まりますが、その行きつく先は無数の可能性を秘めています。生物医学研究は、より健康的な生活、生命を脅かす疾患の克服、人々の健康の改善につながる医学の飛躍的進歩と治療法の進歩をもたらす可能性があります。

これこそが、寛大さと独創力をもってストワーズ医学研究所を設立した際に、ジム・ストワーズとバー吉ニア・ストワーズが思い描いていたビジョンです。ストワーズ医学研究所は、生命科学分野の枠を超え、生物学に大きな疑問を投げかける世界トップクラスの影響力を持つ生物医学研究の拠点として、病状を緩和し、人々の健康を改善するというビジョンに向けた取り組みを続けています。このレポートで取り上げているサイエンスストーリーは、癌、糖尿病、神経変性、不妊、老化と再生、先天性症候群に関する進行中の研究を通じて、**ストワーズ医学研究所がもたらすインパクト**に焦点を充てています。



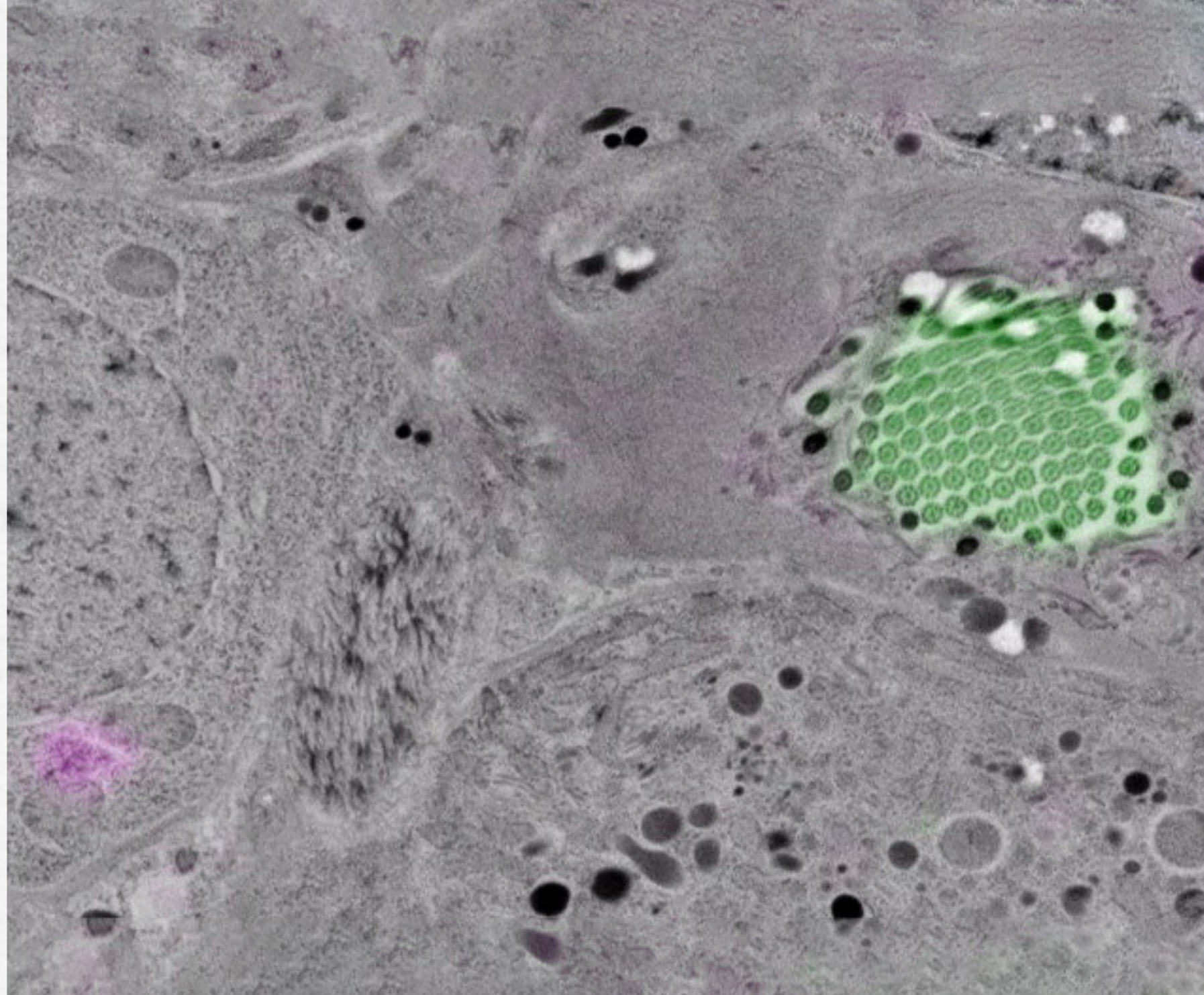
ジム・ストワーズとバー吉ニア・ストワーズはストワーズ医学研究所を設立し、基礎医学研究の資金を支援するためにアメリカン・センチュリーの株式40%を同研究所に寄付しました。

雇用主

としての
サステナビリティ

写真

左側に幹細胞（赤紫部分）を、右側に繊毛のある炎細胞（緑色部分）を写し出すプラナリア扁形動物切片の電子顕微鏡写真。アメリカン・センチュリーは一つの組織でありながら、多様な人々から成るコミュニティで構成されています。弊社の健全性と成功は全従業員が健康で幸福であることに依拠しています。





写真左から：カレン・ヒースウェイド：EMCメンバー兼サミット参加者、ドンナ・ジン：WMFDP所属のサミット共同ファシリテーター、リネッサ・フレイジャー：サミットオーガナイザー

リーダーたちの学びの道のり

誰もがインクルーシブな就業文化を守る役割の一端を担う一方で、私たちはリーダーに対し、共感、理解、感謝、そして私たちの目指す進歩の模範となるレベルの責任能力を求めています。

2022年10月、経営委員会および拡大経営委員会（EMC）メンバーの75%が、WMFDP（White Men as Full Diversity Partners）主催のCourageous Leaders Summitに参加しました。Courageous Leaders Summitは、インクルーシブな環境づくりのためのコンピテンシーを強化するためのものです。WMFDPのシニア・リーダーは、継続的な学習の機会を提供するWMFDPインクルージョン・インサイト・プラットフォームにアクセスすることができ、また四半期ごとにWMFDPの専門家とのセッションを開催し、質問や進捗状況について継続的に話し合う機会を提供しています。

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン（多様性、公平性、包括性）

設立当初より、アメリカン・センチュリーの主たるビジョンはお客様の成功が私達の成功に繋がると信じ、お客様の資産形成の目標の達成を支援することを第一のビジョンとしてきました。その逆もまた然りです。すなわち、人材への投資は、より適切な環境でお客様のために投資する環境を整えることができます。従業員の多様な経験を称賛、信頼することで、弊社はお客様のために最高のパフォーマンスを発揮することができるのです。

弊社は従業員を尊重し、敬意を払うだけでなく、互いの相違を尊重しあうことで、ユニークな職場環境を作りあげています。個々の経験、視点、そして才能といった点が、弊社のパワーをより強固にし、イノベーションを導くのです。弊社は、個人が組織にもたらす才能と強みといった点に焦点を当て、従業員の雇用、能力開発、そして維持に取り組んでいます。従業員の採用と維持に対するこのアプローチは、私たちが変化し続ける世界のペースに対応するための主要な方法の一つであると考えています。私たちのビジネスやお客様のニーズに対するさまざまな考えや視点を代表する、多様で高度なスキルを持つチームが、お客様に対する理解を深め、優れたソリューションを提供し、長期的な関係を築くことにつながると信じています。

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン（多様性、公平性、包括性）（DEI）は健全でハイパフォーマンスな企業文化の中核であり、優れた職場環境を作り出すために必要なものです。ダイバーシティ、

エクイティ、インクルージョンとは反復的で内省的な旅そのものであり、真に到達することはできないと認識しています。そうした認識である一方、アメリカン・センチュリーの成功の礎である原則と価値を示す努力を続け、前進します。

私たちのアプローチ：学ぶ、学び解き、学び直す

このような時代には、問題が膨大に見え、それに対処する私たちの能力も比例して限られているかのように、個々の行動では不十分であると感じるかもしれません。しかし、状況を改善することのできる小さな一歩があります。それは自分たちが知り、理解していると信じることにさらには自覚を深めることです。弊社のDEIプログラムの目標は、私たちが既に知っていると思い込んでいることを内省し、考え、行動するよう手助けをすることです。このプログラムでは、アンコンシャス・バイアス（無意識に持った先入観や固定概念）を明確にし、様々な見解を示し、健全な言論を促すことで、好奇心と成長のマインドセットを育みます。学び、学びを解き、学び直すという循環的プロセスが、成長の機会を創り出します。

学び
学び解き
学び直す

自分自身と互いについてもっと知る
私たちが妨げる信念や偏見を解く
ビジネスを前進させるための振る舞いと行動を学び直す

私たちは学習プロセスを促進する3つの主要な柱を中心としたダイバーシティ・アプローチを構築しました：

- ・ **従業員エンゲージメント** – 社員一人ひとりが自分らしさを発揮できる環境を育みます。
- ・ **人材管理** – DEI を主要なイニシアチブに統合し、採用、雇用、能力開発、新規及び既存人材の維持を通して、多様な人材基盤を成長させます。
- ・ **地域社会とのパートナーシップ** – 目的を持って企業パートナーシップを発展させ、地域社会と積極的に関わります。

従業員エンゲージメント

弊社のビジネス・リソース・グループ (BRG) は、従業員主導の、アメリカン・センチュリー公認グループであり、多様性、公平性、包括性を有する職場を育むために共に働くことに関心を持つ人々により構成されています。関係性を学び、構築する機会を定期的を提供する上で、BRG は学びの過程における重要な中継点と位置づけられ、採用、福利厚生、政策、学習と能力開発、マーケティングとコミュニケーション、及び地域社会への投資など、私たちの行動を振り返るための健全な対話の場を提供してきました。また、BRG リーダーや DEI 委員会と提携する草の根活動でもある Allies for Action や、すべての BRG を対象としたメンターシップ・プログラムである R.I.S.E. (Reach, Inspire, Support, Empower) も存在します。

人材管理と能力開発

アメリカン・センチュリーは、採用から昇進及び維持に至るまで、多様な候補者の確保に注力しています。弊社は、多様性に富む優秀な人材を特定し、採用、選考を行うことで、企業としての雇用能力の向上に継続的に取り組んでいます。

ACCELERATE

女性とその仲間を代表するこの BRG は、女性の雇用、モチベーションの啓発、そしてアメリカン・センチュリーの女性が活躍することにより、総合的ビジネスパフォーマンスがより早く、大きく変化するようにサポートしており、女性が働きたいと思い、そして活躍できる企業としての高い評判を確立することに注力しています。

CHARLIE MIKE

退役軍人と救急隊員及びその仲間を代表するこの BRG は、会社全体で DEI を支持することによって「使命を継続する」点に重点を当てています。

EMERGING PROFESSIONALS

新入社員や復職者、転職者、およびその支援者を代表し、将来のリーダーを育成するため、職業能力開発、地域社会との関わり、ネットワーキングなど、様々な機会を提供することに焦点を当てています。

ENABLE

障害を持つチームメンバー、また障害を持つ人の関係者を代表し、障害のある方に選ばれる雇用主として地位を強化し、メンバーとその仲間が安全で歓迎される職場環境を提供できるよう、支援的なコミュニティを提供しています。

MOSAIC

様々な少数人種グループと文化的背景のメンバー及びその仲間を代表し業務と社内外のコミュニティと繋ぐことに焦点を当て、従業員がありのままにいられる環境作りを支援をしています。モザイクの3つの支部は黒人、アジア系、ラテン系の従業員を代表しています。

PRIDE

LGBTQ+ コミュニティのメンバー及びその仲間を代表し、LGBTQ+ の従業員が安全で、歓迎され、また尊重されていると感じられるようなインクルーシブな環境を創ることに注力しています。

弊社は社内外の人材パイプラインを構築してきました。現在の従業員は私達の企業文化を理解しており、他の社員にもそのような理解を示すことができる立場にいます。社内の紹介プログラムを活用することで、ビジネスを勝ち抜くアクションと急成長する人材との整合性を図り、ビジネス上の意思決定を完全なものにできるよう努めています。弊社は、外部のパートナーと協働し、多様な人材の発掘、人材確保に努めています。このプロセスによって、弊社のリーダーたちは、新たな人材、及び既存のアメリカン・センチュリーのプロフェッショナルを人材パイプラインの一部とすることが出来ます。人材発掘のプロセスでは、アメリカン・センチュリーが指導する入門セッションを受講することができ、知識ベースを高め、社内におけるキャリア構築のサポートをします。

DEIの人材プロセスへの統合 DEIを人材プロセスへ統合することで、私たちは大きな進歩を遂げましたが、真に多様で包括的な労働力を創出するには、“始まりと継続”という2つの段階があると認識しています。人材をどのように発掘し採用するかは、お客様や弊社の成功にとって最も重要なプロセスの一つであり、ヒューマンキャピタルの業界では、人材こそが弊社の価値提案においての最も重要な要素と言えます。この点を念頭に置き、私たちは2年間、社内のリクルーティングチームの再構築に取り組んできました。DEIの学習行程に照らし採用活動を学び直す中で、採用チームに外注の人材紹介企業に劣らない人材獲得能力に必要なスキル、ツール、そしてプロセスを習得させました。

包括的な採用戦略 – プログラム、パートナーシップ、および採用委員会 弊社の人材獲得グループは、採用ポジションに多様な候補者を獲得することに注力しています。弊社は、歴史的に黒人の多い大学、および多様性に富む生徒を擁する教育機関と強い関係を築いています。また、多様な人材を発掘するため、有色人種、女性、LGBTQ+ コミュニティおよび退役軍人をメンバーとするコミュニティや職業団体とも提携しています。

弊社は投資運用のための“Diversity Advancement Early Insights Program” (ダイバーシティ・アドバンスメント・アーリー・インサイト・プログラム)などの、複数のインクルーシブ・リーダーシップ開発イニシアチブを立ち上げてきました。この教育プログラムは、大学院生、キャリアの浅い候補者およびその他の社内職員に、アメリカン・センチュリーと弊社の投資運用マネジメントプログラムを知ってもらえるよう企画されました。各プログラム参加者には、弊社の投資運用グループからメンターが付き、参加者のビジネス教育をサポートします。参加者はその後、弊社の投資運用プログラムにおけるインターンシップへの面接オファーを受け、さらに正規従業員としてのオファーにつながる可能性があります。

社員研修、能力開発、および教育 弊社はより包括的な企業文化を創造するために、いくつかのプログラムや経験を通じた認識、エクスポージャー（教育）、およびトレーニングからなる3段階の人材管理アプローチを行っています。すべての新入社員は、職場のハラスメント、インクルージョンと尊重、そして差別のない職場に関す

るトレーニングを受けます。弊社は重要なコミュニケーションと尊重およびインクルージョンに関する研修も実施しています。

コミュニティとのパートナーシップ

弊社は、多様性を重視する組織と目的を持って企業提携を結び、多様なセグメントにわたるインクルージョンを促進する活動に積極的に取り組み、地域社会を活性化するために慈善活動を活用してしています。

アメリカン・センチュリーは以下のDEIの業界イニシアチブ組織を支援しています：

- 100 Women in Finance.
- Boys & Girls Clubs.
- CEO Action for Diversity & Inclusion™.
- Disability:IN.
- GenKC.
- Girls Who Invest.
- Investment Company Institute.
- Junior Achievement.
- KvinnoKapital.
- LGBT Great.
- Mid-America LGBT Chamber of Commerce.
- National Association of Securities Professionals.
- National Investment Company Service Association.
- Robert Toigo Foundation.

- University Academy.
- WE Inspire. Promote. Network.
- Women in ETFs.
- Women in Finance Asia (Hong Kong).

弊社は、27のウェルス・マネジメントおよび資産運用会社のグループが連携し、金融業界の次世代の多様性のあるリーダーを教育、育成することを目的とする、モルガン・スタンレー・エクイティ・コレクティブのメンバーです。調査では、黒人およびラテン系の学生は高校生の時期に金融サービスでの仕事に興味を持つようになるという結果が示されています。当団体は、このようなキャリア形成期にある学生に会い、彼らへの情報提供を行うため、the Boys & Girls Clubs of America (ボーイズ&ガールズ・クラブ・オブ・アメリカ)、及び“Team IMPACT and HIVE Diversity (チーム・インパクト・&ハイブ・ダイバーシティ)のスポンサーとなっています。この団体活動の一環として、弊社は、9月に参加したボーイズ & ガールズ・クラブキャリアパネルや **12月**に主催したパネルなどのように、学生のための教育と啓発イベント、及びイニシアチブ活動に参加しています (詳細は 35 ページ参照)。

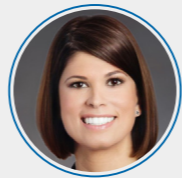
ストワーズ夫妻がストワーズ医学研究所を創設した際、彼らは“経済的成功がいかに善の力となりえるか”という、究極的な模範を示しました。私たちの価値観には、他者を助け、強いコミュニティを構築することへの強いコミットメントが含まれます。BRGはポジティブなインパクトをもたらす数多くの機会を提供し、地域社会にインパクトを与えるために、弊社がどのようにリソースを活用させるかを決定する上で、極めて重要な役割を果たしています。アメリカン・センチュリー財団による助成金の獲得に加え、BRGは自らの予算の一部を提携団体に割り当てました。



2023年1月：DEIの新責任者 アダム・ミラーはDEIの責任者としてアメリカン・センチュリーに入社し、人材獲得に関する社内パートナーおよびコンサルタントとして、BRGの取り組みを推進し、DEIが弊社の一連の顧客サービスに与えるポジティブなインパクトについて戦略的ビジョンを提供します。ミラーはカンザスシティのビジット KC およびロナルド・マクドナルドハウス・チャリティーズの理事を務め、以前はビッグブラザーズ・ビッグシスターズ・カンザスシティの理事を務めていました。また、グレーター・カンザスシティ商工会議所センチュリオンズ・リーダーシップ・プログラムの2019年卒業生で、運営委員を務めました。



2022年9月：デビッド・リビングストンがNicsaライジングスター賞を受賞 コンプライアンス担当のディレクター、デビッド・リビングストンはナショナル・インベストメントカンパニー・サービス・アソシエーション (Nicsa) からライジングスターとして表彰されました。リビングストンは、プライドBRGで重要な役割を果たし、アメリカン・センチュリーのAIDSウォークKCの共同議長、およびプライド月間のパネリストを務めました。



2022年7月：サラ・コッサとダイアン・ギャラガーが共同最高人事責任者に就任 サラ・コッサとダイアン・ギャラガーが弊社のシニア・バイス・プレジデント兼共同最高人事責任者に就任しました。コッサはアメリカン・センチュリーのニューヨーク・オフィスに勤務し、人材獲得、人事 (HR) ビジネスパートナーシップ、人事オペレーションおよび分析、報酬および福利厚生を統括します。ギャラガーはミズーリ州カンザスシティのグローバル本部を拠点に、従業員経験およびリレーション、学習と能力開発、およびコミュニティ・エンゲージメントを統括します。



2022年6月：ジャッキー・ワグナーがLGBT Greatの2022年Global Top 100 Gamechangerに選ばれる LGBT Greatは、シニア・ポートフォリオ・マネージャーでありプライドBRGの共同スポンサーであるジャッキー・ワグナーを、DEIにおいての彼女の啓発活動を称賛し、2022年のグローバル・トップ100ゲームチェンジャーに選出しました。



サイエンス・スポットライト

癌

ストワーズ医学研究所の研究者ジェニファー・ガートン博士は、遺伝学は将来の癌治療の基礎を構築できる研究分野であると考えています。癌の遺伝的原因を知ることは、使用する薬もしくは治療計画、患者への他の癌検診周期、患者の子供に遺伝的原因の検診が必要かどうかなどの判断に影響を及ぼします。

2022年、ガートン博士は遺伝子発見と進歩のための、新たな分野の開拓を手掛けました。**ヒトゲノムの8%の欠落です。**ガートン博士をはじめとする、ストワーズ医学研究所の他の研究者たちは、複数の研究所による国際的な取り組みである Telomere-to-Telomere (T2T) コンソーシアムに参加しています。2003年にヒトゲノム・プロジェクトが発表したヒトゲノム参照配列は不完全であり、2021年までに、およそ100の配列ギャップが発見されました。

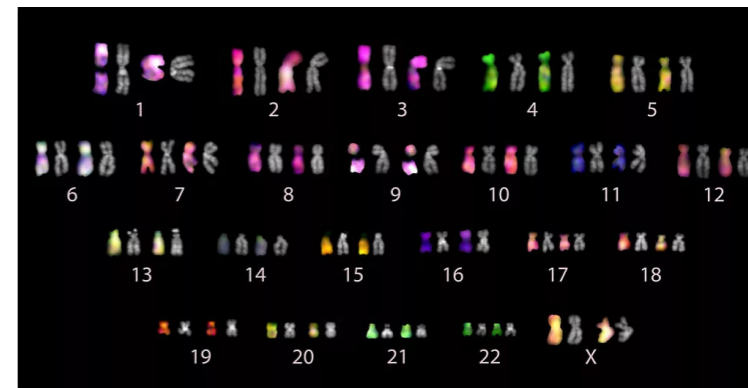
T2T コンソーシアムが発見したことは、こうしたギャップの多くは、機能的に重要な部位の一部にある、ということです。これらの部位は、細胞分裂と染色体分離に影響を及ぼし、機能不全は他の病気の中でも特に癌を引き起こす可能性があります。

ヒトゲノムが最初に公表されてから最後の配列ギャップを埋めるまでに20年を要しました。次の20年において、ガートン博士はこれらの新たに明らかになったギャップに関する研究がヘルスケアの選択肢の向上につながると期待しています。

リサーチ・ハイライト

何百もの異なる病気を構成するすべての癌は、ヒト細胞の突然変異がきっかけによって発生するものと特徴づけられます。正常な細胞が変異して癌化するまでの過程を把握することは、治療や治療を開発する上で欠かせません。ストワーズ医学研究所における基礎研究は、癌の中でしばしば損なわれる遺伝子、タンパク質、分子のネットワークおよびメカニズムを特定しています。

- ・ ストワーズ医学研究所の研究者は、細胞の増殖やその他の機能プロセス障害が、どのように白血病、大腸癌、および癌腫などの異なる種類の癌に関連するかを研究しています。
- ・ ストワーズ医学研究所の研究者は、ヒト臍帯成体幹細胞を培養で拡大する方法を発見し、白血病や他の癌を治療するための移植用治療量を生成する道を開拓しました。
- ・ その他の研究分野としては、治療に耐性がある癌幹細胞の研究、抗がん剤耐性を克服し、免疫を刺激するための新たなアプローチの開発などが挙げられます。



T2Tヒトゲノム完全配列プロジェクトで分析された染色体ペアの整列集合。画像提供：ガートン研究所



ストワーズ医学研究所研究者：ジェニファー・ガートン博士

資金を運用し、インパクトを生む

アメリカン・センチュリー・インベツトメント® はトップクラスの資産運用会社であり、人々の健康を促進する革新的な医学研究を支援しながら、投資を通してお客様に良好な投資成果をご提供し、お客様との長期的な関係を構築することを重視しています。それが、弊社とお客様がともに **Prosper With Purpose**（豊かな未来のために）®に向けて前進する方法です。

自分自身、家族、組織、そして世界をより良い場所にするための投資がますます重視されるようになりました。より有意義でインパクトのある人生を歩み、お金のよりも価値のあるものへ還元することが出来ます。

弊社にご投資いただくと、人々の未来への投資に繋がり、数百万人の人々の生命に影響を与えることに繋がります。これは、ストワーズ医学研究所がACIの40%以上の株を保有している、2者の独自の株主構造であるからです。ACIからの配当金は、同研究所へ割り当てられ、癌などの生命の脅威となる疾病の原因究明、治療法、予防法を解明する研究所の活動を継続的に支える資金となります。

共に力を合わせれば、世のため人のためになることができます。

americencentury.com

4500 Main Street
Kansas City, MO 64111
866-628-8826

330 Madison Avenue
New York, NY 10017
866-628-8826

3945 Freedom Court, Ste 800
Santa Clara, CA 95054
866-628-8826

360 East 2nd Street
Los Angeles, CA 90012
866-628-8826

2 Ice House Street
Hong Kong
+852 3405 2600

12 Henrietta Street
London, WC2E 8LH
+44 20 7024 7080

1 Farrer Place
Sydney, NSW, 2000
+61 2 8823 3403

Taunusanlage 8
60329 Frankfurt, Germany
+49 69 8088 5501

アメリカン・センチュリーの投資戦略の多くは、従来の財務分析に加えて、環境・社会・ガバナンス(ESG)要素への考慮を投資プロセスに組み込んでいます。しかし、その際、ポートフォリオマネージャーは全ての投資決定に関してESG要素を考慮するとは限らず、また、そのような要素を考慮する場合でも、ポートフォリオの意思決定をする際に、投資対象の他の属性がESG考慮を上回ると結論付ける場合があります。したがって、ESG要素を考慮する上でポートフォリオが利用できる投資機会が制限される可能性があります。ESG考慮を取り入れない運用と比べ、ポートフォリオのパフォーマンスが異なる可能性があります。ポートフォリオマネージャーが使用するESGデータは、標準化、一貫性、透明性に欠けることが多く、特定の企業については、そのようなデータの入手ができません、完全または正確でない場合があります。

本資料は教育目的のみで作成されています。本資料は投資、会計、法律、税務に関するアドバイスを提供することを意図したのではなく、また本資料に依拠しないでください。

本書の内容は、著作権法や商標権により保護されています。本書に掲載される文書、画像、映像、商標、デザイン、ロゴの複製、再配布、修正、投稿、構成を禁じます。

ESGの定義

- **ESG統合**：ESG要素を統合した投資戦略については、ESG要素を他の財務変数と併せて分析することにより投資決定を行い、優れた長期のリスク調整後リターンを提供することを目指します。従って、ESG要素により利用可能な投資の機会を制限する可能性があり、ESG要素を取り入れない運用とのパフォーマンスに差が出る場合があります。ポートフォリオマネージャーは、ESG問題がポートフォリオの保有銘柄にどのような影響を与えるかについて最終決定権を有しており、その分析によっては、投資判断がESG要素による影響を受けないこともあります。
- **ESG重視**：ESG要素を重視した投資戦略は、通常の市場環境下において、優れた長期のリスク調整後リターンを追求することに加え、持続可能性な特性を促進するため、特定のESG基準を満たす証券に投資することを目指します。こうした投資姿勢により、ポートフォリオに利用可能な投資機会が制限される可能性があります。したがって、ESG投資のポートフォリオのパフォーマンスは、ESG要素を取り入れないポートフォリオと比較し、アンダーパフォームまたは異なるパフォーマンスを示す場合があります。ESGを重視した投資戦略には、インパクト、ベストインクラス、ポジティブ・スクリーニング、ネガティブ・スクリーニング、およびテーマ別のアプローチが含まれますが、これらに限定されません。

アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント(アジアパシフィック) リミテッドは現在、証券先物委員会(「SFC」)に1種および4種の登録をしています。この資料は情報提供のみを目的として作成されており、当該資料に記載されている有価証券やアドバイス、サービス、投資戦略または商品を提供、販売の推奨や購入の勧誘することを意図したものではありません。この資料の内容は、規制当局によってレビューされていません。アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インクは日本で登録されていません。

当ホームページは、英語版で作成されたものをコンプライアンス審査を通し、日本語版に翻訳したものです。英語版と日本語版が同じ意味になるように最善を尽くしておりますが、仮に不一致があった場合は英語版が優先されます。